



令和元年11月6日

各位

上場会社名 株式会社 アイビー化粧品
 代表者 代表取締役社長 白銀 浩二
 (コード番号 4918)
 問合せ先責任者 取締役 経理部 部長 兼 経営管理部 部長 中山 聖仁
 (TEL 03-6880-1201)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、令和元年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正致しましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

令和2年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成31年4月1日～令和元年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,200	170	150	140	36.30
今回修正予想(B)	2,072	63	50	34	5.11
増減額(B-A)	△128	△107	△100	△106	
増減率(%)	△5.8	△62.9	△66.6	△75.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成31年3月期第2四半期)	1,739	△482	△502	△558	△145.10

令和2年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,250	200	170	150	38.90
今回修正予想(B)	4,100	100	80	60	7.78
増減額(B-A)	△150	△100	△90	△90	
増減率(%)	△3.5	△50.0	△52.9	△60.0	
(ご参考)前期実績 (平成31年3月期)	3,335	△989	△1,035	△1,036	△271.25

修正の理由

当第2四半期累計期間においては、強化製品「レッドパワー セラム」の受注は前年同四半期累計期間比52.0%増となりましたが、販売会社における在庫調整の影響が残り、予定金額の56.2%に留まりました。一方、基本の仕事の徹底を継続推進したことにより、レギュラー製品は前年同四半期比11.4%増で推移し、消費税増税前の前倒し受注も後押しとなり、予定金額を上回りました。その結果、売上面におきましては対前年同四半期比19.1%増で推移しましたが、レッドパワーセラムの受注数量の予実差異を、好調なレギュラー売上でカバーしきれず、売上高予想について前回発表予想の2,200百万円を2,072百万円に修正致します。

利益面におきましては、経費使用方針に基づく予算管理を継続徹底した結果、販売費及び一般管理費を前年同四半期累計期間比で11.5%削減したことにより営業利益、経常利益、四半期純利益ともに黒字へ改善する見通しですが、上記売上高修正の影響と、売上原価率が見込みより多くなったため、営業利益は前回発表予想の170百万円を63百万円に、経常利益は前回発表予想の150百万円を50百万円に、当期純利益は前回発表予想の140百万円を34百万円に修正致します。

通期見直しにつきましては、引き続きレギュラー製品の好調が続くと考えておりますが、上記第2四半期累計期間の業況も鑑み、売上高予想を4,250百万円から4,100百万円に修正致します。下半期も引き続き経費節減に努めてまいります。利益予想につきましても、営業利益は前回発表予想の200百万円を100百万円に、経常利益は前回発表予想の170百万円を80百万円に、当期純利益は前回発表予想の150百万円を60百万円に修正致します。

以上